

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
1	亀岡地区西部	市道中山医王谷中矢田線の早期着工について	<p>当該路線につきましては、市道中矢田篠線と亀岡インターをつなぐバイパス道路計画です。国道9号の渋滞緩和、また、国道9号以南の道路網の形成に大きく寄与することから、市としても重要な課題ということで認識しており、これまでからも整備検討を進めてまいりました。そして、市道城山医王谷中山線につきましては、市道中矢田篠線が、平成28年2月に全線開通しました。開通により交通量が増加しており、それに伴い色々ご迷惑をおかけしていることも認識しており、市内の道路ネットワーク上の大事な路線になるということで、認識しているところです。</p> <p>現在、市内で多くの道路の新設、改良事業を計画的に実施している状況で、国の補助金をいただき事業を進めているところですが、難しい部分もある状態です。そういったことから、まずは現在取り組んでいる事業を優先的に推進し、その後において当該路線の事業化、再開について判断してまいりたいと考えます。</p> <p>事業実施にあたりましては、事業用地の協力が必要不可欠でありますので、地域の皆様のご理解、ご協力をお願いしたいと思います。</p>	まちづくり推進部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
2	亀岡地区西部	亀岡市新火葬場整備について	<p>亀岡市新火葬場整備検討審議会で25名の委員の皆様、場所や機能について、ゼロベースで審議していただきまして、この4月4日に答申と合わせ、審議会から新火葬場整備構想をいただくことができました。答申をいただきましたことにより、火葬場整備の第一歩がやっと踏み出せたと考えています。亀岡市として次のステップとして、平成30年度には新火葬場整備基本計画の策定へと事業を進めていきたいと思っております。この基本計画の内容については、整備構想の中身を見ながら、整備方針や具体的な整備計画などを検討して亀岡市としての考えを決めていくもので、あわせて、施設の運用計画や事業の手法、そして、整備のスケジュールについてもこの基本計画の中で定めてまいりたいと考えています。</p> <p>審議会につきましては計8回の審議をいただきました。その中で他市の火葬場の視察も2か所行っていただき、アンケートもさせていただきました。また、次世代ワークショップということで、大学生や亀岡青年会議所などでワークショップを開いていただきました。そのことを基に整備内容の検討を重ねていただき、答申をいただいたものです。答申について整備構想を含め、一番のポイントは、現在において、整備場所にふさわしいものとして、都市計画決定地の余部町丸山に優位性があると結論付けていただいたところです。</p> <p>また動物炉の設置や部屋を仕切るのではなく、パーティション形式にフレキシブルに使えるようにするという様な意見もいただきました。また余部町丸山に優位性があるという結論をいただきましたが、それに際しまして、10個の評価項目を皆さんの議論の中で定めていただきました。1つ目は現行の都市計画との整合性が重要ということ。それと亀岡市が所有している土地であるということが重要であるということ。3つ目が施設整備が可能な面積を有していること。4つ目がこれまでの経緯、経過を踏襲すべきではないかということ。5つ目は市民の利用するのに適した場所にあるということ。6つ目は交通アクセスの利便性。7つ目は近隣住宅への影響の小さいところにあるということ。8つ目は施設整備にかかるコストパフォーマンス。9つ目は景観との調和が図られること。最後は、施設の安全性の確保。この10個の評価項目の中で議論いただきまして、余部町丸山に優位性があるという答えをいただいたところです。この20年間火葬場の話は出ておりましたが、なかなか動かしにくいということもありました。しかしながら、答申をいただきましたので、これを第一歩として進めてまいりたいと思っております。</p>	環境市民部長	①実施	<p>現在、亀岡市新火葬場整備基本計画を策定しています。平成30年4月4日に審議会から答申を受けた「亀岡市新火葬場整備構想」を基に、優位性があるとして答申をいただいた余部町丸山(予定地)で検討をしており、内容は予定地の概要調査、土地利用・配置計画、景観に合ったランドスケープデザインなどで、平成31年3月末に策定予定です。なお、策定後は市民の皆様にご意見をいただくこととしています。</p>

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
3	亀岡地区西部	水害被害対策 桂川(保津川)逆流水害被害対策について	<p>本市の中心地を流れる雑水川につきましては、近年多くの浸水被害が発生していることから、本市において早期の河川改修による治水安全の向上は、沿川住民の皆様の安全で安心な市民生活の為にも喫緊の課題であると考えております。</p> <p>当該河川については、平成4年度から河川改修事業を進めており、当初、用地の取得ということで、多くの住家等もございましたのでそういったことで進めてまいりました。また、平成22年度には用地取得が完了し、緑橋から上流40m間については暫定改修工事が平成24、25年度に完成しております。今年度につきましては、前年度から引き続きまして、上流の護岸工事と土橋の架け替え工事が着手されおり、年内をめどに完成すると聞いております。引き続き北町橋の架け替えを始め、北町橋上流約90mまでの計画区間について、早期に完成するよう事業実施を進めていただくこととなっております。そういったことから、京都府に地元とともに、十分、事業実施について、働きかけていきたいと考えております。</p>	まちづくり推進部長	②実施予定 ④要望	こん談会での回答のとおりです。
4	亀岡地区西部	保津川団地内道路(市道)の路上駐車について	<p>保津川団地内道路につきましては、ご指摘のとおり路上駐車が多く、昨年度の地域こん談会のあとも、市職員が外向きまして、警察、またUR等と協議をするなかで、自治会、警察、URと連携をいただきまして、駐車車両へのビラ配りをし警告を行うとか、啓発活動の取り組みをいただいているところでございます。しかしながら、まだ多くの駐車車両があるということで、そのことによって見通しの悪さや、非常時の危険等、地域交通が安全に支障をきたしているところでございます。</p> <p>団地内の市道の幅員は広いものの、外側線がないため道交法による規制も難しいと警察から聞いております。そのことから、現在の状況を作り出す一因だと考えています。</p> <p>亀岡市としまして、団地内の道路について、順次、外側線を整備して、市道としての安全を確保するとともに、車が止められにくい構造へ改めていくことで、安全の確保につとめていきたいと考えます。</p>	まちづくり推進部長	①実施	平成30年度、外側線等の整備を行いました。
5	亀岡地区西部	スクールゾーンの 신설について	<p>宇津根から法蔵寺間の交通量が多いこと承知しております。北向きにも南向きにも交通量が多いところでして、このお話を受け、亀岡警察とも協議、確認をさせていただきました。</p> <p>最初、一方通行等の規制という話でしたので、規制をするには、公安委員会が対応するので、今の交通量では簡単ではない、というのが率直な意見です。しかし、子供たちの安全を考えた時、府道ですので、府民公募型整備事業というのがあり、府民の目線で、ここを直してくださいと、提案ができる制度です。それは本日から9月末までありまして、そこに地元からの要望をあげていただくことも一つの方法ではないかと考えております。</p>	総務部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
6	亀岡地区西部	水害被害対策	<p>平成25年度台風18号による被災後、直ちに調査測量が実施されまして、多くの堆積土砂があったということが確認されたわけですが、宇津根橋より下流域において相当量の土砂浚渫が必要であると確認されまして、年次的に土砂の撤去が進められております。昨年度におきましては、宇津根橋上流におきまして、約4,700㎡の土砂浚渫が行われました。それにあわせまして、平成25年度の台風18号以降、累計で約3万トンの堆積土砂の除去が行われたところです。</p> <p>しかしながら、まだ多く堆積している状況で、今月上旬の大雨でもまた土砂が押し込まれたのかなと懸念される場所ですので、引き続き、土砂浚渫は必要であると考えています。</p> <p>土砂浚渫にあたりましては、その処分の受け入れ先の確保が必要で、ご提案のとおり、それを使って、有効に他の事業へ流用してまいりたいと考えております。そのため、京都府をはじめ、行政間での連携を密に行ってまいりたいと思います。</p>	まちづくり推進部長	②実施予定 ④要望	こん談会での回答のとおりです。
7	亀岡地区西部	【質問事項等】 山本浜周辺の河川敷を2メートル掘り下げるといった話があったと思うがどうなっているか	河川整備における最終として山本浜下流の河川敷を掘り下げるといった話は残っております。ただし現状はそれまでに河川整備において、やるべきことが残っており達成はできておりません。	市長 (まちづくり推進部)	③検討	こん談会での回答のとおりです。
8	亀岡地区西部	【質問事項等】 西山の大池について	もし廃池にする場合は利水にかかる権利者の同意がなければ廃池にすることはできません。農業用のため池としての利用をやめるということであれば亀岡市も協力することができますのでよろしくお願い致します。	市長 (産業観光部)	⑥その他	全ての関係者において、廃池に向けた取り組みが具体化した段階で、協力していく予定です。
9	亀岡地区西部	【質問事項等】 アユモドキの増殖計画というのは考えているか。予算だてはできているのか	人工的に増加させた場合自然放流させることが難しいと聞いています。亀岡市では実験的な池を作ってそこで自然交配させて稚魚の数の把握も行っております。昨年4月には市の魚に認定した限りは、環境のバロメーターとしてとらえ亀岡の豊かな自然をアピールする柱としてとらえ取り組んでいきたいと思っております。また実態調査だけでなく自然的に数が増えるための予算についても検討していきたいと思っております。	市長 (環境市民部)	③検討	アユモドキが自然状態で産卵・孵化が出来るかのモニタリング調査を始め、生息域を中心とした環境や個体の調査等も実施しているところであり、今後も引き続きアユモドキの保護と環境の保全に努めます。更には、これまでの調査で得た知見を基に、国・府等の関係機関と連携を図り、生息域の拡大にも努めてまいりたいと考えています。
10	亀岡地区西部	【質問事項等】 城西小学校のマーチングバンドが終了するが、なんとかならないか	授業日数の関係で学校全体として行う事は終了する方向で考えています。そこで、南つつじヶ丘小学校のように地域のみなさまとともにクラブ活動のような形で行うことができないかと考えており、学校で検討いただいております。	教育長 (教育部)	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
11	亀岡地区西部	【質問事項等】 城西小学校の体育館のフロアの改修について	市内のいくつかの体育館の改修を行っていますが、抜本的な改修が必要なのか、部分的な改修なのかを確認して対応できる場所は対応していきたいと思っております。	教育長 (教育部)	①実施	夏休み期間中に体育館フロアの部分改修を行い、学校現場としても特段支障はないと聞いているところです。また、学校にメンテナンスオイルを支給し維持管理について協力いただいているところです。現状使用に問題はないと考えており、今後も施設の劣化状況を確認しながら、随時修繕等対応してまいりたいと考えております。